

# 学校だより



No.2

平成26年4月15日  
尼崎市立尼崎養護学校

## ありがとうございました そして ようこそ尼養へ



春らしい暖かい風が吹くようになってきました。桜の花も終わりのようで、風に吹かれて花びらが舞い散っています。若葉が芽吹き始めて新緑の葉の色が混ざり、遠目にくすんで見えます。田近野の自然は新緑の季節（5月）に向かっていきます。

さて、4月7日、今年度尼崎養護学校に転入された先生方の紹介（着任式）と9日には転任された先生の紹介（離任式）が行われました。

本校も新入生を迎えにぎやかにスタートしましたが、新しい出会いと共に別れもやってきます。

この尼養で一緒に過ごしてきた15名の先生や職員の方々とお別れするのはとても寂しいです。

転任された先生方にはとてもお世話になりました。語られる一言一言の言葉の「重み」と「愛情」を感じると共に、着任した私たちは今以上に良い学校をつくっていかねばならないと思

いました。新天地でのご健闘を期待しております。ありがとうございました。



### <去られた先生>

藤本彰教 校長	園田南小
関 弘明	武庫小
菅谷玲子	武庫東中
森岡伸次	琴城分校
阪田玲子	西宮養護
田村真理	常陽中
足立昌代	園田小
藤田伸子	西宮養護
辻本かおり	阪神昆陽特別支
山本 洋	友生支援
池田 圭	宝塚養護
池川真由	塚口中
藤井啓子	退職
星山末徳	武庫東中
三宅かおり	兵教大

### <お迎えした先生>

吉田武史 校長	塚口中学校
渡辺功司	西宮養護
中西奈津江	芦屋特別支援
馬場憲一郎	園田南小
入江美貴子	園田東中
平田昌也	南武庫之荘中
橋本純一	大阪市立小
古賀 雅	北難波小
西畑実芸	西宮養護
松林倫弘	宝塚養護
川村伊代	こやの里特別支
加藤奈美	
八木 夢	大庄中
梶原京太	

子どもたちは日々の生活でいろいろな人と関わりを持つことで「わかるようになったこと」「できるようになったこと」が増えていきます。

しかし、『わかること』と『できること』は別で、ここには大きな溝があります。大切なのは『できること』です。

しかし、わかっているけどできないことはあります。

- ・他の事に気を取られている。
- ・実は誤解をしている。
- ・忘れている。
- ・自信がない。

1つのことを確実にできるようにするためには、その事に集中し、繰り返しできる姿になるまで続ける根気強さがいります。

「わかること」は「できること」は違う

「説明したでしょ。何故できないの？」などと言って、子どもを叱る姿を町で時々見かけます。

子どもが悪い訳ではありません。自信をもってできるまでの手だてを打っていない大人の配慮不足が原因なのです。

させてみて、できるかどうか見届け、できれば「できた。」と認める。一度だけではなく、何度もできるか見届ける。「できた。」「できた。」を繰り返し、子どもに自信を与える。ここまでできれば、安心して目が離せます。

また一度できたから次もできると思うのは間違い。繰り返しがなければ身に付かないことはたくさんあります。

つづく.....